

HONDA ADV160 機械曲GP-MAGNUM105 サイクロン EXPORT SPEC 政府認証

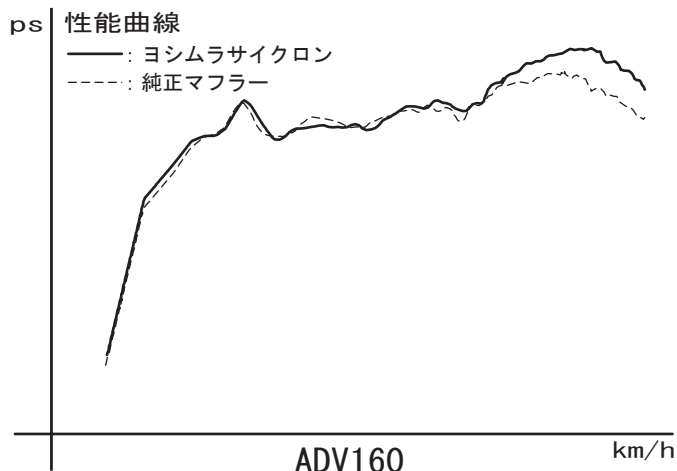
取扱説明書

- 作業に入る前に必ず取扱説明書を熟読して下さい。
- 作業中は本書を手元に置き、指示に従って作業を進めて下さい。
- 本書は製品を廃棄するまで確実に保管して下さい。

- ▲危険** 怠ると怪我につながる注意事項を示してあります。
- △注意** 怠ると部品の損傷等につながる注意事項を示してあります。
- 参考** スムーズに作業を進める上でのポイントや参考となる事項を示してあります。

1. 適応車種及び諸元表

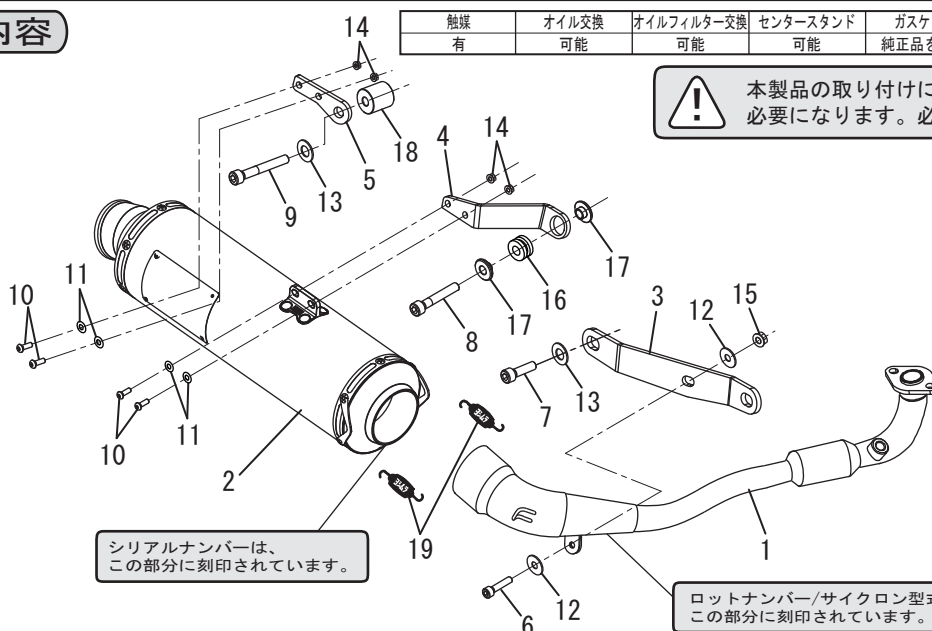
車名	HONDA ADV160		
車両型式	8BK-KF54		
エンジン型式	KF54E		
認証番号	JMCA1023001239		
サイクロン型式	H46HSCI11		
素材	SUS304 / Ti		
品番	ステンレスサイレンサー	: 110A-46H-5U50	
	サテンフィニッシュサイレンサー	: 110A-46H-5U30	
	チタンブルーサイレンサー	: 110A-46H-5U80B	
重量	純正マフラー	: 5.8 kg	
	ステンレスサイレンサー	: 3.4 kg	
	サテンフィニッシュサイレンサー	: 3.4 kg	
	チタンブルーサイレンサー	: 3.2 kg	



2. セット内容

触媒	オイル交換	オイルフィルター交換	センタースタンド	ガスケット	カウル加工	サイレンサーリメイク
有	可能	可能	可能	純正品を使用	無	可能

! 本製品の取り付けには、別途純正ガスケットが必要になります。必ず新品を用意して下さい。



シリアルナンバーは、この部分に刻印されています。

ロットナンバー/サイクロン型式は、この部分に刻印されています。

NO.	品名	数	品番	NO.	品名	数	品番
1	エキゾーストパイプ	1	111-46H-5U00	10	ボタンボルトM6×20	4	803-206-4020
2	サイレンサー (ステンレスカバー)	1	139-46H-5U50	11	SUSワッシャM6×13	4	812-206-1310
	サイレンサー (サテンフィニッシュカバー)		139-46H-5U30	12	平ワッシャM8×26	2	812-108-2600
	サイレンサー (チタンブルーカバー)		139-46H-5U80B	13	平ワッシャM10×22	2	812-110-2216
3	エキゾーストパイプステー	1	161-46H-0000	14	フランジナットM6	4	823-006-1000
4	サイレンサーステー#1	1	161-46H-0010	15	フランジナットM8	1	823-008-1250
5	サイレンサーステー#2	1	161-46H-0030	16	グロメットラバー	1	553-565-0000
6	キャップボルトM8×20	1	800-208-5020	17	段付きカラー	2	850-210-26A1
7	キャップボルトM10×35 P1.25	1	800-210-5035	18	スペーサーカラー 10-24-46	1	860-010-2446
8	キャップボルトM10×50 P1.25	1	800-210-5050	19	マフラーズプリング (フローティング)	2	118-001-0000
9	キャップボルトM10×80 P1.25	1	800-210-5080	*	スプリング取付工具	1	100-000-0000

3. 取付方法

⚠注意 ※作業時は部品を損傷しないよう注意して作業を行なって下さい。
※ボルト、ナット締め付けの際は必ず規定トルクを守って下さい。
ボルト、ナットの脱落・製品の破損の原因になります。

1. セット内容を確認して下さい。

2. メーカー発行のサービスマニュアルを参照し、純正マフラーに付いているO2センサーのカプラーを抜いて下さい。
次に、車体等を傷つけない様に注意しながらO2センサーごと純正マフラーを車両から取り外して下さい。取り外した純正ナットは本製品取り付けに使用します。
(FIG. 1 参照)

3. スイングアームを留める下側の純正ボルトと純正ワッシャを外して下さい。外した純正ボルトと純正ワッシャは本製品取り付けに使用します。(FIG. 2 参照)

4. ③エキゾーストパイプステーを、手順3で外した純正ボルトと純正ワッシャ、⑦キャップボルトM10×35P1.25と⑬平ワッシャM10×22を使用して仮締めして下さい。(FIG. 3 参照)

参考 ③エキゾーストパイプステーは穴のピッチが短いほうが前側になります。

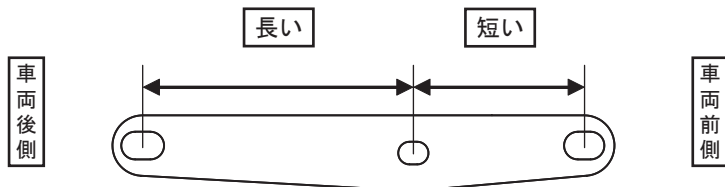


FIG. 1

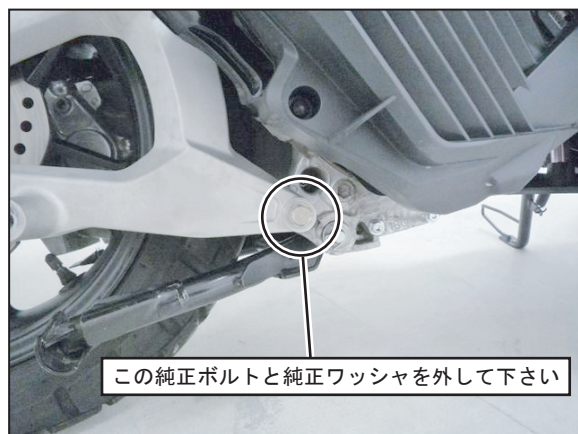


FIG. 2

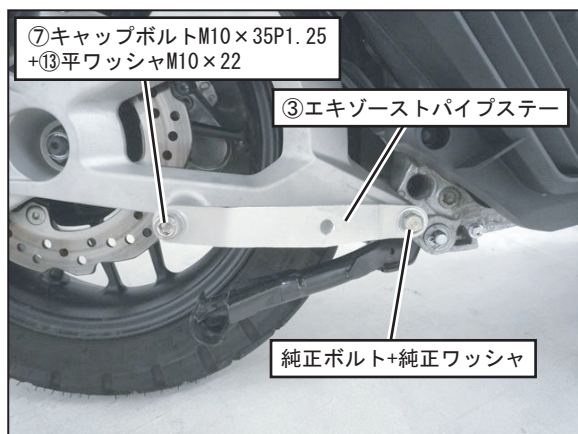


FIG. 3

5. 純正マフラーからO2センサーを取り外し、①エキゾーストパイプに取り付けて下さい。(FIG. 4 参照)

⚠注意 規定トルク O2センサー : 25 Nm

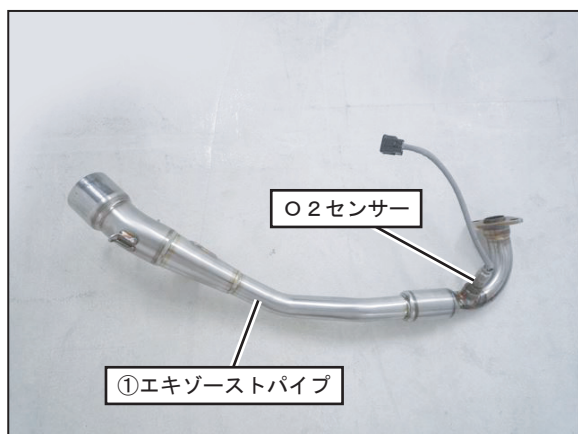


FIG. 4

6. 純正エキゾーストガasketを新品に交換し、手順5で組み付けした①エキゾーストパイプをエンジンの排気ポート部に純正ナットを使用して仮締めして下さい。(FIG. 5, 6 参照)

⚠注意 必ずメーカー純正のエキゾーストガasketを使用して下さい。

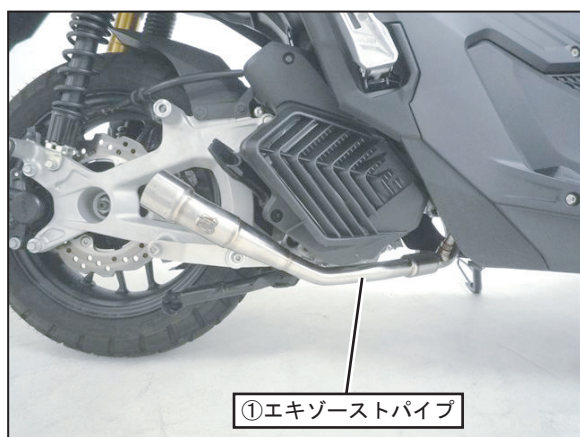


FIG. 5

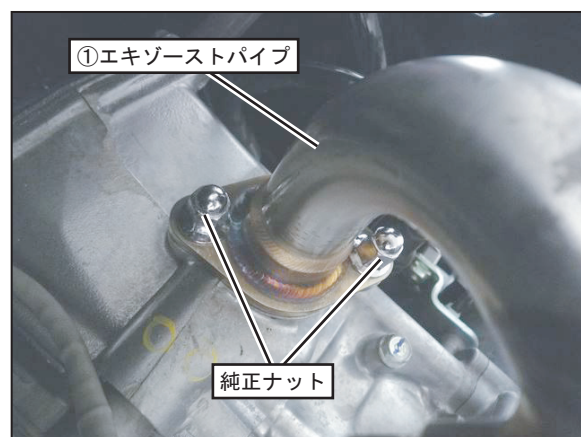


FIG. 6

7. ①エキゾーストパイプのステーを、⑥キャップボルトM8×20と⑫平ワッシャM8×26、⑮フランジナットM8を使用して③エキゾーストパイプステーに仮締めして下さい。(FIG. 7, 8 参照)



FIG. 7

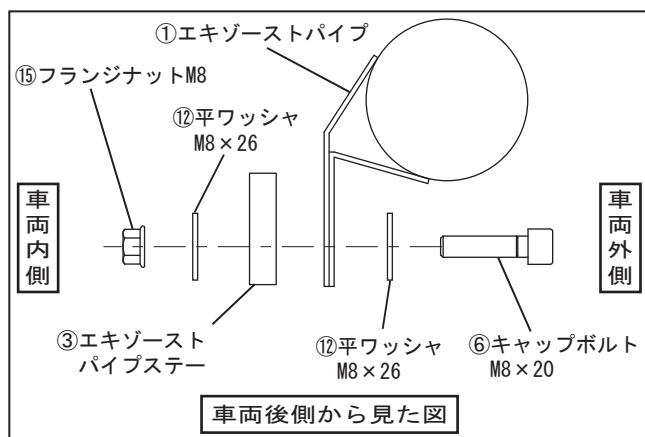


FIG. 8

8. ④サイレンサーステー#1に⑬グロメットラバーと⑦段付きカラーを取り付けて下さい。次に、②サイレンサーに④サイレンサーステー#1を⑩ボタンボルトM6×20と⑪SUSワッシャM6×13、⑭フランジナットM6を使用して仮締めして下さい。(FIG. 9, 10 参照)

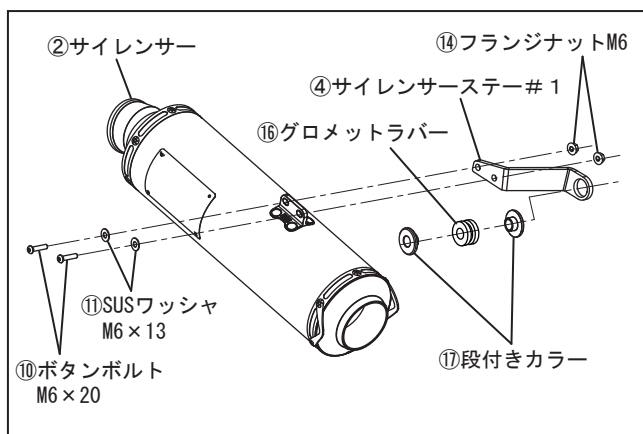


FIG. 9

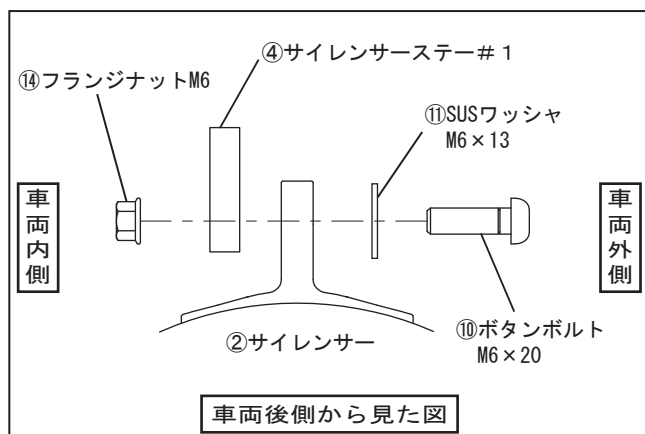


FIG. 10

9. ②サイレンサーに⑤サイレンサーステー#2を⑩ボタンボルトM6×20と⑪SUSワッシャM6×13、⑭フランジナットM6を使用して仮締めして下さい。
(FIG. 11, 12参照)

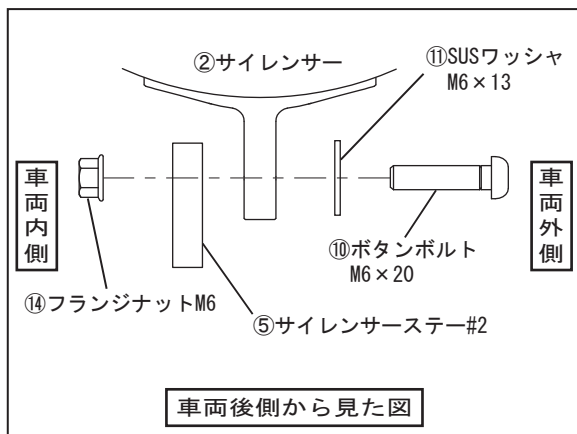


FIG. 12

10. ①エキゾーストパイプに②サイレンサーを取り付け、⑲マフラスプリング（フローティング）をスプリング取付工具を使用して取り付けして下さい。
(FIG. 13参照)

⚠危険 スプリングを取り付ける際は、スプリングが工具から外れない様に充分注意して下さい。（怪我をする恐れがあります）

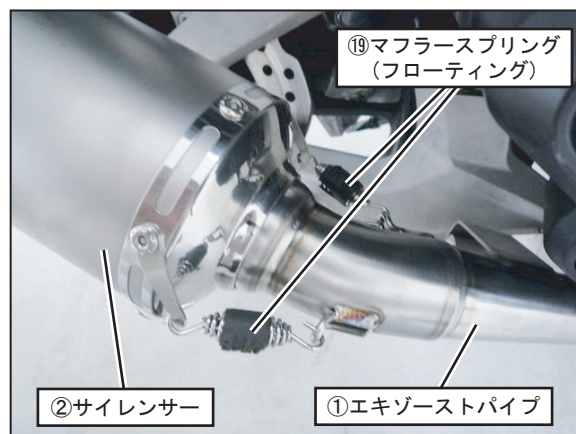


FIG. 13

11. 車両に⑧キャップボルトM10×50P1.25を使用して④サイレンサーステー#1を仮締めして下さい。次に、⑨キャップボルトM10×80P1.25、⑬平ワッシャM10×22、⑯スペーサーカラー10-24-46を使用して⑤サイレンサーステー#2を仮締めして下さい。
(FIG. 14, 15, 16参照)

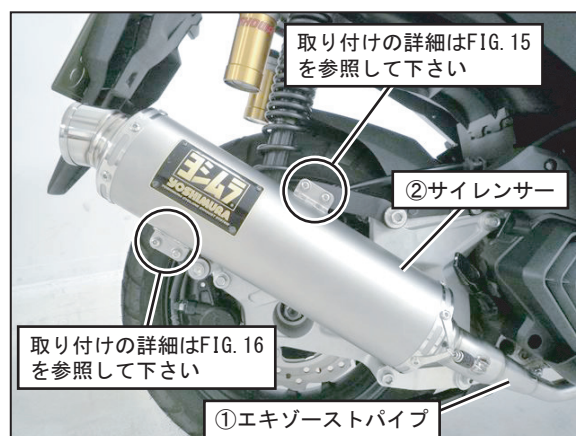


FIG. 14

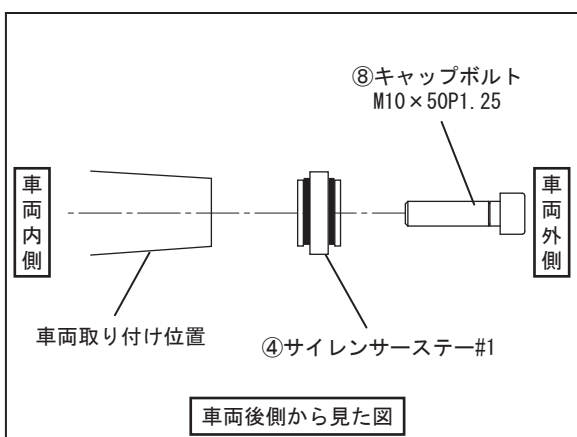


FIG. 15

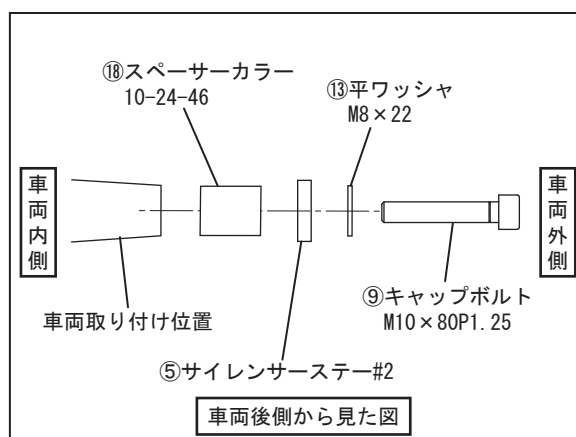


FIG. 16

- 1 2. 車両後方から見てサイレンサーの傾きやマフラーと車両のクリアランスを調整し、排気ポート→サイレンサーステー→エキゾーストパイプステーの順に規定トルクで締め付けて下さい。（FIG. 17, 18 参照）



規定トルク

① 純正ナット	: 18 Nm
②③ キャップボルトM10	: 39 Nm
④⑤ ボタンボルトM6	: 10 Nm
⑥ 純正ボルト	: 39 Nm
⑦ キャップボルトM10	: 39 Nm
⑧ キャップボルトM8	: 23 Nm

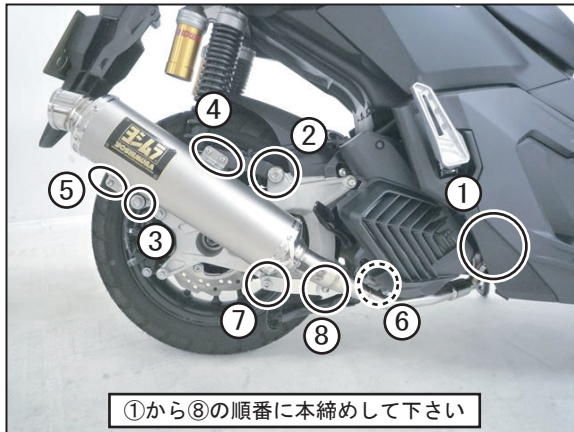


FIG. 18



FIG. 17



FIG. 19

- 1 3. マフラーと車両が干渉していない事を確認して下さい。干渉している場合はエキゾーストパイプ、サイレンサーステーを留めるボルト・ナットを緩め、干渉しない位置に再度調整して下さい。（FIG. 19 参照）

- 1 4. O2 センサーのカプラーを元に戻して下さい。

- 1 5. 中性洗剤、ウエス等でマフラー全体を良く脱脂して下さい。指紋などが付着したままエンジンを始動すると、色ムラとなって残ってしまうことがあります。

- 1 6. 手順2で外した右サイドカバーを車両に戻して下さい。

- 1 7. 暖気運転を行ない、排気漏れが無いことを確認し、エンジンが完全に冷えてから各ボルトの増し締めを行なって下さい。



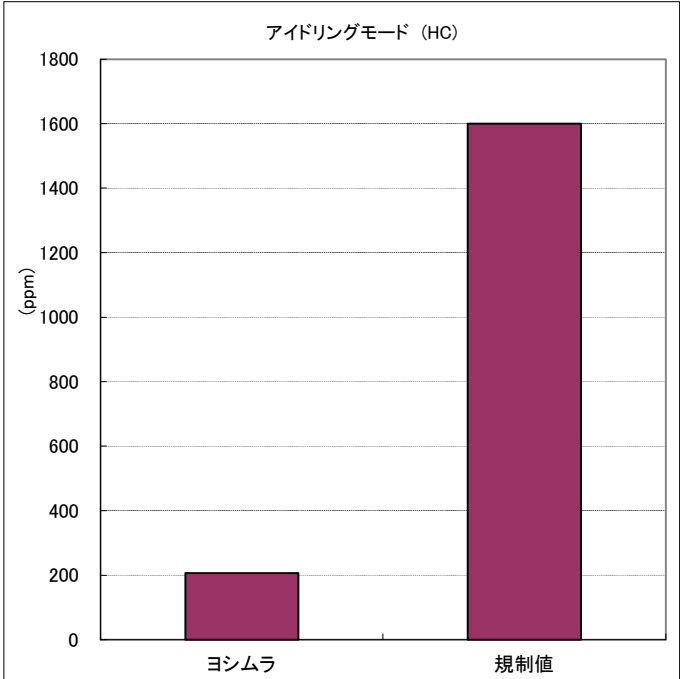
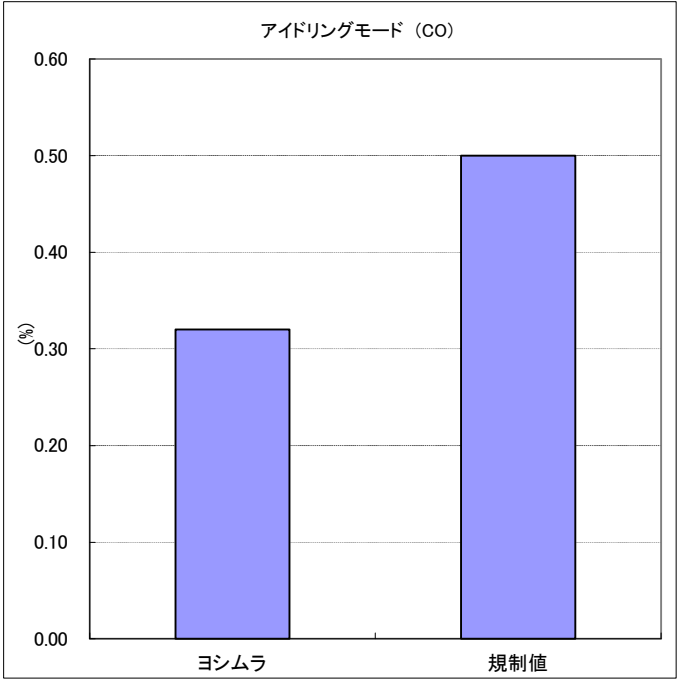
HONDA ADV160 機械曲GP-MAGNUM105 サイクロン EXPORT SPEC 政府認証

排気ガス、騒音データ表

○排ガス測定結果表

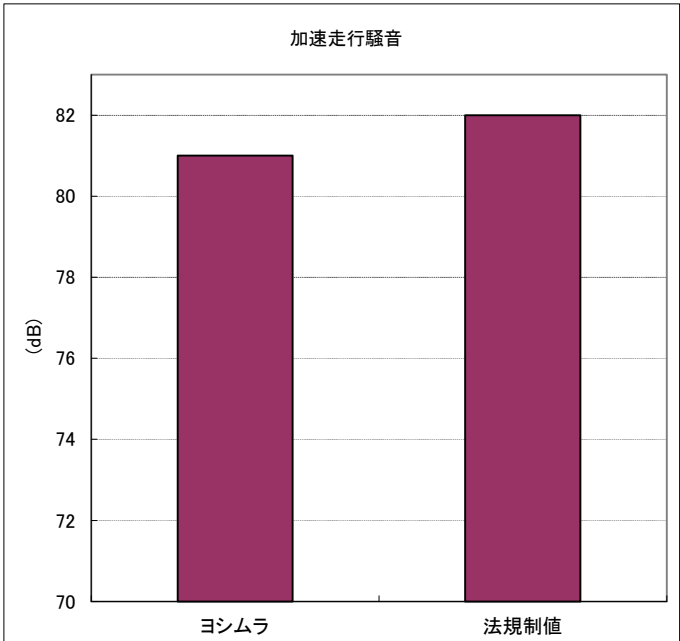
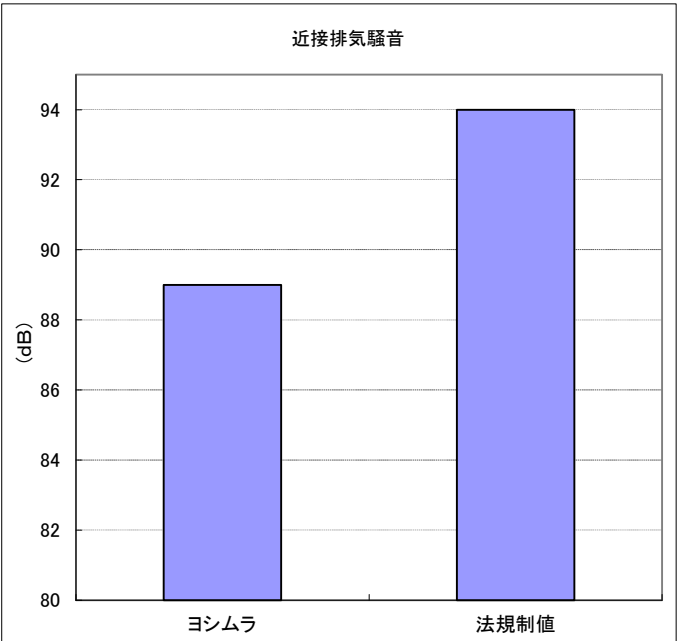
アイドリングモード測定

	ヨシムラ	規制値
一酸化炭素CO(%)	0.32	0.50
炭化水素HC(ppm)	206	1600



○騒音測定結果表

	ヨシムラ	法規制値
近接排気騒音(dB)	89	94
加速走行騒音(dB)	81	82



⚠ 重要

※マフラーが車体と干渉したままエンジン始動や走行を行うと、火災や転倒などの事故の原因になりますので、マフラーが干渉していないことを充分確認して下さい。また、どうしても干渉が避けられない場合や、走行中に干渉しているような場合は、直ちに使用を中止し、(株)ヨシムラジャパンのマフラーホットラインまでご連絡下さい。

⚠ 危険

- ※エンジンを始動する際は、換気の良い所で行うこと。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になる恐れがあります。
- ※エンジン始動時は排気口に手を出したりしないこと。排気ガス中に含まれるグラスウール等が目や手などに刺さる恐れがあります。
- ※エンジン停止時に空吹きをして止めた場合、マフラー内部に未燃焼ガスが溜まり、着火してテールエンドより炎を発する場合があります。テールエンドの先には引火しやすい物が無いことを確認してからエンジンを停止して下さい。発火した炎により引火し、爆発や火災が発生する恐れがあります。

⚠ 注意

- ※取付け、取扱いの不注意による返品は、固くお断り致します。
- ※製品に加工、改造などは絶対行わないで下さい。それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。
- ※他メーカー製品との適合は行っておりませんので、本製品取付け、使用時に不具合が発生する恐れがありますが、それらの場合の修理苦情等一切の責任を負いかねます。

● キャタライズドサイクロンについて

※本製品はマフラー内部に触媒を搭載した”キャタライズドサイクロン”です。環境問題を考え、排出ガスを低減しつつ従来のDSCサイレンサーと同等の性能を発揮する環境型高性能マフラーです。

● ヨシムラサイクロンのメンテナンス

- ※走行中アフターファイアーが激しく鳴る場合は、エキゾーストパイプ・テールパイプ等の差し込み部に、市販のマフラー用液体ガスケット等を塗りシーリングを行って下さい。作業はエンジンが完全に冷えてから行って下さい。
- ※マフラーが砂や泥で汚れてしまった場合は、マフラーが冷えてから水洗い等で汚れを落として下さい。定期的に増し締めを行い、マフラー各部の点検(変形、キズ、車体との干渉等)を行って下さい。
- ※エンブレム等の色落ちの原因になりますので、パーツクリーナー又は有機溶剤等の使用はご遠慮下さい。マフラーの脱脂等には、中性洗剤を使用して下さい。
- ※サイレンサー内部の消音材は消耗品です。消音材が消耗すると音量増加のみでなく、出力の低下にもなります。消音材が消耗した場合は、リメイクサービスをご利用いただくことにより、長く安心してご使用いただけます。リメイク内容についてはお問い合わせ下さい。また、転倒などによる損傷の場合には、(株)ヨシムラジャパンに連絡の上、修理または損傷部品の交換等を行って下さい。

● 2年保証について

- ※レーシングサイクロンを除く全ての一般公道用サイクロンは保証対象です。オンライン保証登録をして頂き、購入日を証明するレシート等を保管して頂くことにより、購入日から2年間の保証対象となります。
- ※登録方法につきましては右記のQRコードから又は下記のアドレスよりオンライン保証登録のご案内ページを参照して下さい。
- ※使用過程で発生した商品の変色・錆・塗装剥がれにつきましては、保証対象外となりますので予めご了承下さい。特に素材に鉄やアルミを使用した部分は、使用期間や走行距離にかかわらず錆が発生する場合があります。同様に塗装商品も使用期間や走行距離にかかわらず塗装剥がれが発生する場合があります。長く商品をご使用いただく為にメンテナンスが必要となりますが、ヨシムラジャパンでのリメイク/再塗装サービスもご用意しております。詳しくはヨシムラジャパンホームページをご覧ください。
- ※製品については慎重に品質管理を行っておりますが、万一不良・不都合がありましたら保証規定に従い保証対応を致しますので、お買い上げ店又は(株)ヨシムラジャパンまでお知らせ下さい。

オンライン保証登録のご案内 : <http://www.yoshimura-jp.com/products/online-warranty.php>

保証登録のご案内



アフターサービスのご案内



● 「政府認証マフラー」について

- ※本製品は、騒音規制に適合するため「近接排気騒音」「加速走行騒音」を測定して法規制値をクリアーし、公的認証機関の試験に合格した「政府認証マフラー」です。
- ※詳しくは、ヨシムラジャパン、販売店又はJMC A事務局までお問い合わせ下さい。

(株)ヨシムラジャパン 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748

・マフラーリメイクのご案内 ▶

マフラーリメイクのご案内



- ・マフラーに関する技術的なご質問、ご相談
- ・マフラーの修理や商品に関するご質問、ご注文

お問い合わせいただく際は、「商品名」「商品番号」「車種」「車両年式」「車両型式」をご確認の上、ご連絡下さい。

お問い合わせのご案内

